



6年目に入った漏水調査……

ダイヤランド地区内で町水道課が実施している東部簡易水道（ダイヤランド分）の漏水調査は今年度で6年目に入り、全調査終了まで残り1年となった。今年度はA地区（モニュメント、セントラル病院、第2源泉にわたる周辺地域）B地区（桜公園北側地域）が調査対象となっており、これまでにA地区の835区画の調査をほぼ終えた。

町水道課によると、今回の調査で新たに見つかった漏水箇所は3箇所。平成16年度からの調査で発見された漏水箇所は通算で32箇所。見つかった漏水箇所についてはその都度漏水防止措置を講じている。調査は各住宅敷地内にある止水栓、メータ、道路部埋設管について管路探知器などを使って水道管の埋設状況や漏水発生の有無を確認するものだが、水道課では、調査が終了次第、本管から各住宅につながっている給水管の取り出し直し（給水管のタコ足状況をなくす）工事に入りたいとしている。

一方、町水道課の資料によると、今年度の東部簡易水道（ダイヤランド分）の有収率は4・5月が55%、6・7月が62%と大きく改善した。20年度は年平均で48%、19年度は37%、18年度は34%。これを見ると、有収率は年々向上している、つまり漏水率は年を追って低下していることになる。平成10年度以降でみると、有収率が年平均で50%を超えたのは平成12年度の52%だけ。反対に最も有収率が低かったのは平成16年度の33%。今年度については、4～7月までの数字で今後の予想をするのは困難だが、有収率70%という目標にはまだ開きがある。

●計画通り30日に防災訓練

ダイヤランド防災訓練



ダイヤランド自主防災会の総合防災訓練が予定通り8月30日（日）に行われます。

総合訓練は今年度から各地区ごとに行うことになり、訓練内容も地区それぞれ独自に決める。ただ、区防災本部と各地区との無線交信は従来通りの方法で行う。

30日は衆院選挙の投開票日と重なるため、県の総合訓練は1日早めて29日に行うことになった。函南町も30日に予定していた町としての防災訓練を中止、12月6日（日）の「地域防災の日」に改めて実施する。

●新たにごみステーション

住民から強く要望が出ていた「切り通しバス停」付近のごみステーションの整備について、町からの補助金の交付がこのほど正式に決まった。補助金は15万円（総額約200万円）これに伴い管理センターでは今月25日から工事に入り、9月中には工事を完了する計画。同地域ではこれまで道路わきのコンテナにごみを投棄していたが、猫やカラスなどに荒らされ、ごみが散乱するなど苦情が高まっていた。

また、同時に坂下バス停付近とつつじヶ丘バス停近くの9地区2班のごみステーションの2箇所についてはカラス侵入防止用の網かけ工事を行う。



●ドットラインと看板設置

熱函道路と畑7号線の交差点付近にこのほどドットライン（視覚的に減速効果がある）と「交差路あり注意」の看板4枚が設置され、事故防止に役立つとして期待されている。

セントラル病院下の第4警備所から畑7号線を通過して熱函道路に出る交差点付近ではこれまで事故が多発し、ここを利用するドライバーから「安全対策を講じてほしい」との声が出ていた。

これを受けて区民の会は今年2月、畑、丹那両地区にも協力を呼び掛け、町に道路交通標識の敷設を求める要望書を出していた。同付近の熱函道路は信号機がなく、ほとんどの車が時速80kmから100kmのスピードで走行しており、事故の危険性が指摘されていた。このため、当初は信号機の設置を強く要望したが、信号機は設置上、大きな制約があることから、ドットラインと看板の設置に落ち着いた。



区民の会・環境美化部会主催の恒例の春の「グリーン作戦」が5月31日(日)に区民、区在住の函南中学生、管理センター職員らが参加して行われた。

クリーン作戦もこれで通算6回目。今回は特に資源ゴミ・古紙がテーマ。午前9時にダイヤランド・ホール前に集合、4つのグループに分かれ、ごみ拾いとゴミステーションの観察を実施。きれいに整えられているステーションもあるが、そうでない所もあった、というのが参加者の率直な感想だった。清掃活動のあと、場所をダイヤランド・ホールに移し「どうして資源ゴミを分別するの？」をテーマに勉強会が開かれた。環境美化部会の川原徳重委員によるDVDなどを使った説明は具体的で説得力があった。また、これも恒例となった函南中学生徒による手品(鈴木 幹氏指導)、クイズ、寸劇などのレクリエーションも行われた。

また、7月12日(日)には、ダイヤランド・ホールで同部会による「古紙の分別について」の勉強会も開かれた。川原委員が「紙の現状と古紙について」「なぜ分別しなければならないのか」などについて話し、その後函南町環境衛生課の担当者が「函南町の資源ゴミとしての古紙について」町の現況を詳しく説明。ゴミ問題は詰まるところひとりひとりの意識の問題に帰着する。問題意識を共有することの重要性を痛感した。

防災情報メモ

先日新聞を読んでいて一つの記事が目にとまった。その記事によると、地震の発生には活動期と静穏期があって今は地震活動が不活発な静穏期なのだそうだ。

国内で震度5弱以上の地震が発生していない期間が7月27日現在で計319日に達した。これは震度5と震度6に強と弱の分類区分が導入された1996年10月以降では歴代2位長さという。気象庁によると、国内で最後に発生した震度5弱以上の地震は2008年9月11日の十勝沖地震(最大震度5弱)。以降震度4の地震は計21回あったが、震度5弱以上は観測されていない。震度5弱以上が発生しなかった期間で一番長かったのは97年6月25日に山口県北部で起きた地震(最大震度5強)から98年8月12日に長野県中部で起きた地震(同5弱)までの412日。政府の地震調査委員会によると、日本列島は長期的に見ると地震活動が活発な時期と不活発な時期があり、現在は不活発な時期の最中だという。

しかし、専門家は「たまたま大地震がしばらくないだけで、いずれは起きる恐れはある。引き続き警戒は必要」と話している。

●自治会活動保険に加入

自治会活動中の事故やけがに対して保険が支払われる自治会活動保険にダイヤランド区民の会は6月16日付で前年に引き続き加入の手続きをした。

保険期間は7月1日から来年7月1日まで。契約方式は自治会で、保険料は145,200円。うち町が一部助成(48,750円)を行っている。

ありがとう！

毎年下記事業につきまして、皆様の深いご理解とご協力有難うございました。

加入実績は以下の通りです。

- ① 日本赤十字社
68件 34,000円(昨年79件/39,500円)
- ② 社会福祉協議会
67件 33,500円(昨年75件/37,500円)
- ③ きれいな水を守る会
63件 12,600円(昨年76件/15,200円)

サークル紹介

++++ コールうらら +++++

女性のコーラス・グループ。会員数は22名。創立20年の伝統あるサークル。6月と11月に開催される静岡県合唱連盟東部支部主催の合唱祭に参加することが活動の主たる目標。指揮者の飯田昌男さんの指導で毎週水曜日午前10時20分からダイヤランドホールで練習を行っている。レパートリーも外国曲を含め幅広く、合唱が好きでハーモニーを楽しみたいと思う人の入会を歓迎しています。



●連絡先は 田中 真弓
(電話 974-4464)



●ダイヤランドのシニアクラブである「富岳会」が会員を募集しています。

函南町老人クラブ連合会に所属し「健康・友愛・奉仕」をスローガンに活発に幅広く活動しています。現在会員は67人(男性34人、女性33人)で、60歳以上であれば誰でも加入できます。「富岳会」の活動の一端を紹介すると、講演会や見学会のほか、ボウリングやベタンクなどのスポーツ・サークル、食事会やバス旅行、また施設訪問などの社会奉仕活動に至るまで実に多彩です。

心身を健康に保ち、親睦・交流の輪を広めるには実に格好の集いです。

入会希望者は会長の一条 宏(電話974-2651)まで。